

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道23号 <small>おかさき</small> 岡崎バイパス			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	白：愛知県額田郡幸田町芦谷 至：愛知県西尾市南中根町			延長	14.6 km		
事業概要	一般国道23号名豊道路は、愛知県豊橋市東細谷町から豊明市阿野町を結び、沿線の8市1町を通過する延長72.7 kmの大規模バイパス事業で、高規格道路として整備している。 一般国道23号岡崎バイパスは、高規格道路名豊道路の一部を構成し、交通渋滞の緩和、物流効率化の支援、災害に強い道路機能の確保等を目的とした延長14.6 kmのバイパス事業である。						
S55年度事業化 S62年度事業化	S50年度都市計画決定 S51年度都市計画決定	S55年度用地着手	S61年度工事着手				
全体事業費	1,040億円	事業進捗率 (令和4年3月末時点)	約81%	供用済延長	14.6 km		
計画交通量	66,000台/日						
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 5.3 (8.6)	総費用 (残事業)/(事業全体) 986/11,574億円 事業費：690/9,785億円 維持管理費：296/1,356億円 更新費：/433億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 7,921/61,213億円 走行時間短縮便益：7,217/57,770億円 走行経費減少便益：654/3,055億円 交通事故減少便益：51/388億円	基準年 令和4年			
感度分析の結果	【事業全体】交通量変動：B/C=4.8~5.8(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=5.3~5.3(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=5.3~5.3(事業期間±20%)						
事業の効果等	①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（名鉄バス）が存在する。 ・第一種空港（中部国際空港）へのアクセス向上が見込まれる。 ②物流効率化の支援 ・重要港湾（三河港）へのアクセス向上が見込まれる。 ③都市の再生 ・区画整理（西尾西山地区等）の沿道まちづくりとの連携がある。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・高規格道路「名豊道路」の一部として全区間指定されている。 ⑤個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト（三河湾地域リゾート整備構想）を支援する。 ・主要な観光地（豊川稲荷）へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設（安城更生病院）へのアクセス向上が見込まれる。 ⑦災害への備え ・第一次緊急輸送路（愛知県地域防災計画より）として位置づけられている。 ・一般国道1号が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。 ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑨生活環境の改善・保全 ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。						

